

仁賀保高生154人 鳥海山登山

仁賀保高校(にかほ市象潟町、佐々木誠校長)の全校生徒による鳥海山(2236^米)登山が、24日行われた。生徒154人が、7合目過ぎの「七五三掛(しめかけ)」を目指したが、悪天候のため6合目手前で断念し、引き返した。

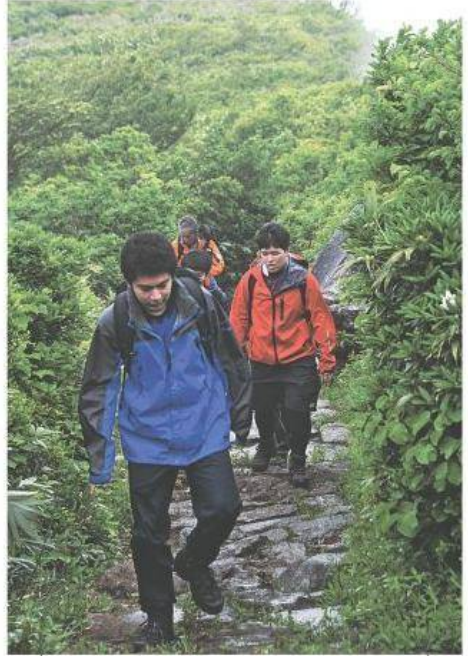
目標の7合目 悪天候で断念

生徒のほか、教職員や地元山の会会員、医師や看護師も同行した。女子は午前7時10分、男子は8時10分、それぞれ5合目(鉢立・象潟口)を出発。3、5人のグループに分かれ、登山道を進んだ。時折小雨に打たれながら、1時間ほどで6合目「賽の河原」手前である雪溪の入り口まで、帰ってきたときにまた

挑戦したい」と話した。仁賀保高の全校鳥海山登山は、古里の山に親しんでもらおうと1981年から実施。22日には、登山の心得や注意点を確認する校内集会を開いた。

(進藤麻斗)

険しい道仲間と前へ



グループごとに登山道を歩く生徒



視界を確保できず、6合目手前で引き返すことにした